

2018年（平成30年） 山のトイレを考える会 活動報告

山のトイレを考える会

1. フォーラム案内、ニュースレターを送付（2018年1月13日）

第19回山のトイレフォーラム案内とNO.19ニュースレターを会員及び関連団体へ約400通送付しました。
2. 大雪山国立公園における携帯トイレ普及に向けたシンポジウムに参加（2018年1月27日）

大雪山国立公園連絡協議会主催のシンポジウムが「かでる27」で開催。美瑛富士避難小屋のトイレ問題の現状について仲俣事務局長が講演
3. 平成30年度定期総会の開催（2018年3月10日）

第19回フォーラム開催日に定期総会を開催しました。平成29年度事業報告、会計報告、平成30年度事業計画案、予算案について承認を受けました。
4. 第19回山のトイレフォーラムを開催（2018年3月10日）

第19回山のトイレフォーラムが札幌エルプラザ・環境研修室1・2で、34名の参加者を迎えて開催しました。テーマは「携帯トイレ先進地を目指して」です。発表は次の3テーマでした。

 - (1) 美瑛富士携帯トイレシステム試行的導入・3年目の報告：
上川自然保護官事務所 枘厚生氏
 - (2) トムラウシ南沼汚名返上プロジェクト1年目の活動と今後の取り組み
十勝総合振興局 牛嶋あすみ氏
 - (3) トムラウシ山登山道及び南沼野営地の利用状況調査
上士幌自然保護官事務所 原澤翔太氏

環境省の美瑛富士アンケート調査（61件）では、携帯トイレ利用促進施策の認知度は約66%、携帯トイレの所持率約62%でした。

議事要旨とフォーラム資料集はホームページに掲載されていますのでご覧ください。
5. 「大雪山国立公園携帯トイレ普及宣言」発表式に参加

私たちの念願であった「大雪山国立公園携帯トイレ普及宣言」が大雪山国立公園連絡協議会と北海道の18山岳団体共同で7月10日、上川町の大雪森のガーデンにて発表されました。この宣言について「山と溪谷社」から投稿依頼があり、8月号に記事を掲載させていただきました。

6. トムラウシ南沼汚名返上プロジェクトに参加協力

十勝総合振興局環境生活課が事務局になって昨年4月に発足した「トムラウシ南沼汚名返上プロジェクト」の2年目の事業の一つであるアンケート調査に協力しました。

7月28日～29日、トムラウシ南沼でのアンケート調査に小枝副代表と仲俣事務局長が参加しました。アンケート19枚を回収、携帯トイレブースの使用動向調査も併せて実施しました。

7. 美瑛富士携帯トイレブース設置と点検パトロールの実施（2017年6月24日～9月29日）

次のとおり仮設携帯トイレブースの設置、山岳団体による点検パトロールを実施しました。なお、白金温泉公衆トイレと十勝岳温泉登山口にも美瑛町と上富良野町の協力を得て、回収ボックスの設置と使用済み携帯トイレの処分をしていただきました。

また、一昨年、昨年と同様に9月6日に台風で携帯トイレブースが倒壊しました。

- ・6月24日（日）…仮設携帯トイレブースの設置：9名
（環境省・美瑛山岳会・山のトイレを考える会等）
- ・7月9日（月）…荒天のため中止：日本山岳会北海道支部
- ・7月14日（土）…大雪山国立公園パークボランティア連絡会：7名
- ・7月22日（日）…札幌山岳連盟：3名
- ・7月29日（日）…北海道山岳連盟：3名
- ・8月4日（土）…道北地区勤労者山岳連盟：4名
- ・8月19日（日）…荒天のため中止：山のトイレを考える会
- ・8月20日（月）…日本山岳会北海道支部：3名
- ・9月2日（日）…道央地区勤労者山岳連盟：11名
- ・9月14日（水）…台風により倒壊した携帯トイレブースの再設置と点検パトロール
環境省東川自然保護官事務所：5名
- ・9月19日（水）…北海道山岳ガイド協会：2名
- ・9月29日（土）…仮設携帯トイレブース撤収：2名（環境省） のべ49名

8. 大雪山国立公園における携帯トイレの利用促進施策実施

(1) 美瑛富士避難小屋に無料の携帯トイレを配備して、携帯トイレを所持していない人に使用してもらう施策を実施しました。当会で150個購入、113個が使用されました。

(2) 大雪・十勝連峰を縦走する登山者の中継基地となる白雲岳避難小屋に携帯トイレを配備、所持していない登山者に提供（協力金）する施策を実施しました。当会で250個を提供しましたが、配布したのは2個にとどまりました。上川総合振興局、上川町、当会との連絡不足が要因であり、12月18日に三者で打ち合わせ、来年に向けて施策の推進について確認しました。

(3) 旭岳ロープウェイ姿見駅で、縦走登山者に対し携帯トイレの所持を呼びかける施策を

実施しました。東川町大雪山国立公園保護協会から登山者へのレクチャーを受託しているNPO法人大雪山自然学校に啓発用のパネルを掲示していただきました。

夏期シーズン、約4,800回レクチャーの中で携帯トイレの所持を呼びかけていただきました。

9. 2018全道一斉山のトイレデーファイナルの実施（2018年9月2日）

多くの皆さまに支えられ2001年から毎年実施してきた山のトイレデー。「大雪山国立公園携帯トイレ普及宣言」が発表されたことを契機に今年を最終回としました。

北海道の15箇所の登山口で、山のトイレマナー袋やトイレマップを配布、トイレ紙やゴミを拾う清掃登山を行いました。参加者は46名。山のトイレマップ307部、山のトイレマナーガイド194部、山のトイレマナー袋407袋、マナーカード41枚を配布することができました。

10. 山トイレ勉強会での講師派遣（2018年10月19日）

山トイレ勉強会の講師派遣要請があり、仲俣事務局長が講師を務めました。

- ・5月18日：日本山岳会北海道支部自然保護研修会
- ・5月24日：万計山荘友の会総会

11. 北海道地方環境事務所主催の会議に出席

環境省北海道地方環境事務所主催の「表大雪地域登山道情報交換会」「東大雪地域登山道情報交換会」は春季と冬季のそれぞれ2回開催され出席しました。

会議では山のトイレの現状や当会の活動を報告し協力をお願いしました。

(以上)